

# 認知症のケア学ぶ

## 県介護福祉士会が研修会

高山市

県介護福祉士会の飛騨地区研修会が23日、高山市昭和町の市民文化館で行われ、会員らが認知症について理解を深めた。

県内各地で研修会は行われており、飛騨地区では年1〜2回実

施。県内の介護福祉士や地域住民ら約45人が参加した。

講師を務めたのは特別養護老人ホーム「さわやかナーシング川辺」(加茂郡川辺町)

の山田典孝施設長ら2人。山田さんは「介護

福祉士に求められる認知症ケアについて」と題し、認知症ケアの歴史や基本理念、認知症

の原因と特徴などについて説明した。「認知症高齢者の生活背景や時代背景を理解することが大切」と話す

山田さん。「認知症の利用者は出会ったときから認知症。認知症になる前のことを知ってあげることも大事な」と伝えた。

(古田直也)



認知症について学ぶ参加者。高山市昭和町、市民文化会館